

### 日本ボケ展 開催のお知らせ



日本一の規模を誇る第42回日本ボケ展が開催されます。期間中、約1万鉢ものボケの花が展示即売され、日本ボケ協会と県内外のアマチュア愛好家との合同作品展も同時開催されます。ぜひ一度ご覧になってみてください。

期 日 3月1日(金)～10日(日) 9時～17時  
ただし、最終日は16時まで  
会 場 うららこすど  
問い合わせは「うららこすど」 ☎0250-38-5430

小正月恒例行事の「うららこすどのさいの神」が1月13日(日)に行われました。

餅つきを行った後、来場者に美味しい汁餅が振る舞われました。続いて「鎌倉神楽連中」の皆さんから、かぐら舞いが披露され、厄除けで頭を噛んでもらい泣き出す子どももいました。

ビンゴゲームで盛り上がった後、屋外のさいの神会場では、竹とわらで組



▲「無病息災」天までとどけ(さいの神)



▲獅子から頭を噛んでもらって厄除け

## 一年の平穏無事を願い

うららこすど

んだやぐらの前で「無病息災」「家内安全」「商売繁盛」などを願ってお祓いが行われました。

続いて、点火が行われ一年の平穏無事を願う200人の来場者の気持ち在天までとどくかのように一瞬にして炎と煙に包まれました。

地域の小正月行事が少なくなっている中で、伝統と絆を大切にすることが取り組みは大変貴重でこれからも続けていってほしいものです。

## 語り継ぐ小須戸の文化 ～資料で楽しむ小須戸の歴史編～講座を終えて



第2回目:明治20年 横水村の土地更正図(原本)に見入る受講生の皆さん

小須戸の歴史を学ぶ地域学講座も今年で4年目となりました。今年「江戸・明治の小須戸の人々の暮らし」をテーマに様々な古文書や資料を基に辿りました。講師はいつもの元小須戸町史編纂委員の木村宗文さんと元小須戸町役場職員青木達男さんをお願いしました。

小須戸の昔を知りたいと思われる方はたくさんいらっしゃると思います。が、江戸末期以前のもの、あまり資料がみつけれないのが現実です。なぜなら、それが大事なものだと思われ、残そうと思っ保管しない限り、廃棄または紛失、焼失してしまうものがほとんどだからです。歴史講座



第3回目:小柳家「西国巡礼道中記」(1823)江戸時代の旅の様子を受講中

を組み立てる上で大切なことは、資料となるべき物が残っているか?それを裏付けする他の物があるか?その古文書を解説できる講師がいるか?等です。

今回、この「江戸・明治の小須戸の人々の暮らし」は小須戸におられた先人達の見えない力に導かれるように、資料と講師達が出会い、構成され出来たものでした。緻密で正確な古地図や文書を書いた先人、大事なものと認識し保管し続けてくれた先人、そしてその古文書を解説しわかりやすく説明できる講師、それをデータ化できる講師、そして学びに来てくれた受講生。たくさん見えない繋がりが一つの講座を作り上げたのです。このうえない時間でした。

### クリスマス会おはなし会

読み聞かせボランティア「おはなしぼけっと」の皆さんによる「おはなしのせかいへクリスマス会」が12月15日(土)、まちづくりセンターで行われました。

◆おはなし「しおちゃんとしょうちゃん」◆えほん「まよなかのゆきだるま」「さんかくサンタ」「ケーキやけました」の語りと絵本の読み聞かせに子どもも大人も聞き入っていました。

最後に、素敵なクリスマスプレゼントに子どもたちは大喜びしていました。



大勢の方が来てくれました



### 「野菜たちと私」

あまり広くない、我家の畑には少しづつはありますが、年間40種類程度の野菜を作っています。畑に行く「野菜の皆さん今日は、ばあばが来たよ元気にして居る」帰る時は「ばあば帰るよ又来るからね」と挨拶をして帰ります。出来るだけ殺虫剤は使用しません。少しの化学肥料と堆肥を使う事にして



城丸 玲子 さん (天ヶ沢)

濃く、のつべの里芋も美味しいと言ってくれます。野菜を乾燥したり塩漬、冷凍にして越冬用に使っています。先日雪を被ったイタリアンパセリを収穫し新鮮で美味でした。ジャガ芋やさつま芋を掘ると

土竜(もぐら)や鼠(ねずみ)が土の中にトンネルを掘って、フカフカにして芋が育ちません。土竜とばあば半分ずつに分けて喰うていますと話したら、土竜は彼岸花が嫌いなのだそうです。球根を持っている人から頂戴することにして、昨年の秋風が立つ頃に沢山球根を頂き、土竜が来ないと良いなと思

### 小須戸小からのお知らせ

「私たちが考える小須戸の未来」小須戸小学校6年生が提案します。大好きな小須戸の未来がこうあってほしいという願いを実現するための提案です。

日 時 3月4日(月) 午前11時～11時45分  
会 場 小須戸まちづくりセンター3階 ホール

地域の皆さんから大勢聞きに来ていただきたいと思っています。

### 祝! 第10回にいがたボケ13 スリッパ卓球大会を開催します

応援・見学大歓迎!!お気軽にお越しください!!

- ☆開催日 3月3日(日)
- ☆時 間 午前9時から競技開始
- ☆会 場 小須戸体育館(横川浜)
- ☆試合方法 11本先取3セットマッチ
- ☆競技種目
  - ◆個人Aクラス:卓球大会の出場経験がある人 女性には1セット3点のハンディキャップが有ります。
  - ◆個人Bクラス(男女別):卓球大会の出場経験がない人
  - ◆小学生クラス:小学1年生～6年生
  - ◆混合ダブルスAクラス:男女ともに卓球大会の出場経験がある人
  - ◆混合ダブルスBクラス:男女ともに卓球大会の出場経験がない人
  - ◆親子ラリー:制限時間3分の間にどれだけラリーが続くかを競います。小学生の子どもと親・祖父母などとのペア。
  - ☆特製ラケットを使用します。(写真参照)
- ☆主 催 にいがたボケ13スリッパ卓球大会実行委員会



特製ラケット



今年も応援に来るよ!

- ※初めて参加される方、興味のある方へスリッパ卓球の練習、体験ができます
- ☆日 時 2月26日(火) 午後7時～9時
- ☆会 場 小須戸体育館
- ☆対 象 小学生(保護者同伴)から一般まで
- ☆持ち物 内履き、タオル、飲み物など(ラケットはお貸しします)
- 参加費無料・当日直接会場へ



昨年の大会の様子

### ～第12回秋葉区展入賞作品紹介～

12回目となる「秋葉区美術展(区展)」が11月23日から12月2日まで新津美術館で開催されました。

小須戸地区関係では奨励賞を4人の方が受賞され、12月2日の表彰式で賞状と記念品がそれぞれ贈られました。

#### 奨励賞

#### 洋画部門

「鮭」

橋 朝子 さん (小須戸)

村上の鮭を描きました。いつもは8号の大きさに描いていますが、30号で描いてみました。これからも、元気で続けられたらと思っています。



#### 奨励賞

#### 洋画部門

「想」

高崎 正道 さん

(小須戸文化協会文化部副会長)

東蒲原郡旧三川村にある持倉鉱山跡を描きました。

40年以上前に溪流釣りに出かけたとき、たまたまこの廃墟と出会いました。



#### 奨励賞

#### 写真部門

「麦わら帽子の男」

小見 久雄 さん (小須戸)

いつも同じグラウンドで走っている人をグラウンド脇の背景が暗くなる場所で撮らせてもらいました。

日本人です。モノクロにしてコントラストを強めました。



#### 奨励賞

#### 写真部門

「晴れないかなー」

風間ヤヨエ さん (新保)

雨の日になった祭り。参加する子どもたちが、晴れるか心配している様子を撮らせてもらいました。



### 発想伸び伸び 色彩豊か ～第49回県ジュニア美術展受賞～

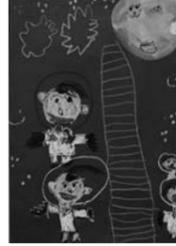
#### 優秀賞

池上 咲桜 さん  
(小須戸幼5歳児)

「うちゅうぶくをきて、おつきさまをとろうとしているよ」



- ・お月さまのうさぎをかわいく描けた
- ・はしごを長くお月さままで描くのがんばりました



新潟県内の子どもたちの美の祭典「第49回県ジュニア美術展覧会」(新潟日報社、県教委など主催)の作品審査が12月4日に行われました。今回は、県内664の幼稚園・保育園、小・中学校などから3万521点の応募があり、特賞30点、優秀賞190点、奨励賞1840点が選ばれました。小須戸地区からは3名の子どもたちが優秀賞、奨励賞を受賞しました。「工夫したところ」「大変だったところ」などのインタビューも含めて紹介いたします。

#### 奨励賞

鈴木琳太楼 さん  
(小須戸小1年)

「くじらぐもにのって、うちゅうへ！」



- ・キラキラしたスパンコールをボンドで張った。スポンジを使い白くくじらぐもを作った
- ・人間を描くのが大変だった



#### 奨励賞

中野 天斗 さん  
(矢代田小1年)

「おしりのかめにのって」



- ・おしりのかめを色々な色を使い、まわりのタコや海草などの海の様子とスタンプでのエサなどみんな頑張って描いた
- ・描くの疲れただけど、じょうずに描けてとてもうれしかった



### ニュースポーツ 体験 day

寒い日々、少し動いて温まりましょう!  
日時 3月2日(土)  
午前9時30分～11時30分  
会場 小須戸地区ふれあい会館  
種目 カーリンコン・スリッパ卓球  
※カーリンコンとは、カーリングを基にした床の上でディスクをポイント目掛けて投げるニュースポーツ  
持ち物 内履き(運動靴)、タオル、飲み物  
※参加費無料、事前申込不要・当日直接会場へ  
主催 小須戸地区スポーツ振興会  
協賛 小須戸コミ協、山の手コミ協  
問合せ 高野 (090-4098-4356)

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、2月25日(月)までに小須戸地区公民館へ。

#### 俳句・川柳・短歌募集

#### 短歌

忘れまい中越地震よく耐えた  
健やか願う十四の祝い  
病む人の待合室は一樣に  
無表情にて呼ばるるを待つ  
孫家族遠い異国の空の下  
幸せ祈る夜明けの日に  
露のとう庭の一隅雪の下  
路味噌作り春を味わふ  
佐渡ヶ島手届きそうに浮かんでる  
年の始めの静かな海に  
帰りゆく自動車に乗りて別れ云ふ  
孫によぎるは独りの侘しき

高橋キヨ  
こみけ  
玲泉  
吉田まつえ  
久保ミネ子  
榎本和代

#### 川柳

初鏡もう歳なんか教えまい  
寒風に負けず新年初歩き  
わたし主婦三ヶ日でもおさんどん  
ワンコイン両手に余る願い事  
スタートに気張らぬ亀のマイペース

奉和  
渡辺信崇  
能登としお  
保科志枝  
浄田栄  
会田修  
増井都留  
熊倉ひろむ  
本多玲子  
間野えり  
丸山紀子  
吉澤文子  
馬場高志  
佐久間久子  
風間幸子  
馬場綾子  
吉田松子  
中野太郎

#### 俳句

初句会花の傘寿の揃ひけり  
大晦日越えて座れば八十路坂  
つつがなく傘寿の顔や初鏡  
平成の最後傘寿の賀状書く  
初釜や落雁「おかめ」のゑがほあり  
「幸せだなあ」八十路も半ばおらが春  
健康をただ健康を初詣  
お正月孫の顔見て元気なる  
たいそうな初糶の値や黒マグロ  
ありがたや今一日の睦月晴  
祝膳を皆んなでいただく初句会

### 文芸欄

### 秋葉区自治協議会提案事業 在郷町小須戸 ひな・町屋めぐり

小須戸コミ協と秋葉区自治協議会の協同事業「在郷町小須戸 ひな・町屋めぐり」が1月12日より始まり地域内外から多くの方が訪れています。今年は地域の皆様がお持ちのひな人形を貸して下さいと呼びかけたところ、多くの方からおひなさまをお借りすることができました。また、大切に保管していたけど、家ではもう飾らないので地域の皆様に見ていただければと、ご寄付いただいたおひなさまもたくさんあります。小須戸・矢代田地区はもとより中央区や長岡市の方からもひな人形を寄付していただきました。ご協力ありがとうございました。町屋ギャラリー・薩摩屋とまちづくりセンターをメイン会場とし、金融機関や商店など約30ヶ所にひなかざりを展示中です。ピンクののほりを目印におひなさまめぐりはいかがでしょうか。



#### 小須戸コミュニティ協議会

### 新春

### 笑って正月ボケを吹き飛ばせ!

1月17日(木)、ふれあい会館にて新潟県防犯アドバイザーの中野小路たかまるさんを講師に迎え、防犯漫談が行われました。振り込め詐欺の手口や防止策の他、「敵はだましのプロ! 甘くみたら怪我すぞ!」「健康に毎日過ごすにはサプリメントや薬でもねんぞー。笑って生活するのが1番いいんだがね! 笑てれば病気になるて!」「今日聞いた事忘れなさんや!」と、親しみのある新潟弁で面白おかしく参加者に問いかけながら終始笑い声が絶えない漫談になりました。



#### 山の手コミュニティ協議会

#### 小須戸コミ協 からのお知らせ

超かんたん! だれでもできるプランターで生ごみリサイクル!  
日時: 3月7日(木) 午後1時30分から3時 会場: 小須戸まちづくりセンター 2F 研修室  
講師: 白井智雄さん 申込: まちづくりセンター事務室 (☎25-7069) ※参加費無料